

令和4年度 大阪市立西成市民館事業報告書

施設概要

施 設 名	大阪市立西成市民館
所 在 地	大阪市西成区萩之茶屋2丁目9番1号
施 設 規 模	延床面積 416.18㎡ 鉄筋コンクリート造 3階建 一部2階
主 な 施 設	2階 事務室、図書室、和室 3階 講堂、集会室A、B

指定管理者

団 体 名	社会福祉法人 石井記念愛染園
主たる事務所の所在地	大阪市浪速区日本橋5丁目16番15号
代 表 者	理事長 藤井 信雄
指 定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
報告対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
担 当 者	館長 徳山 基治
連 絡 先	06-6633-7200

1 指定管理業務の実施状況

① 施設の運営方針・取組について	
西成市民館設立設置目的である隣保協同の精神に基づき、その施設の利用をもって地域住民の福祉の増進及び、生活の向上を図るための取り組みを実施している。その目的の他、現在の地域におけるニーズや昨今の状況に合わせた館運営を行っている。 具体的には各種催事とそれに伴う会場提供（貸館業務）、各種講習会、独自事業を行うことで地域福祉及び教養、文化の向上に取り組んでいる。また、地域団体や学校等との連携を拡充し、利用者及び地域住民のニーズに対応している。そして、地域住民同士の交流だけでなく、地域住民と地域外住民による地域間交流や、異なる世代間の交流を図ることで次世代育成等の新たな取り組みを行っている。地域ボランティア養成の拠点となるよう積極的に情報を発信し、地域内外の住民等が、親近感を持って利用し、地域活動に役立つように努めている。	
② 職員の配置状況について	
職 員	2名（館長、係員）
非常勤	3名
③ 建物の維持管理の取組について	
消防設備点検	（年2回）
防火対象物点検	（年1回）

建築設備定期点検（年１回） 防火設備定期点検（年１回） 特定建築物定期点検（３年に１回、令和５年度予定） 害虫駆除（年２回）
④ 危機管理について
（１）事故防止等安全対策 緊急時対応マニュアル、消火器、施設内外にＡＥＤの設置場所案内を掲示している。事故等が発生した時には、そのマニュアルに沿って対応している。 （２）災害時緊急時の対応 同一建物内の保育園と共同で月１回避難訓練を実施し、津波対策として年１回わかくさ保育園児を３階へ避難する訓練を実施している。 （火災及び震災を想定した避難訓練。消防署立会いでの訓練は年１回実施。） 消防法に基づく避難経路・非常口を分かりやすく明示している。 （３）感染予防対策 館内の手すり及び備品などを利用後に消毒し、飛沫感染防止のパーテーション、サーキュレーターを設置し来館者へのマスクの配布、消毒器を個々に設置し、換気の徹底をしている。又、手洗いを徹底するためポンプ式石鹸、ペーパータオルも自由に利用出来るよう設置した。椅子、机他、備品の利用後、都度消毒を行っている。 （４）その他 独自に非常口等の避難経路の安全点検を月１回行っている。

2 利用状況

貸室利用状況			
	令和４年度	令和３年度	前年度比
講 堂	57.2%	52.6%	4.6%
集会室Ａ	42.0%	19.9%	26.7%
集会室Ｂ	18.9%	2.6%	16.3%
全 体	39.4%	25.1%	14.3%

3 実施事業

① 事業報告
（１）クラブ活動 ほのぼのクラブ…カラオケを目的とし実施していたが新型コロナウイルス感染予防対策として３年度より回想音楽を聴く集まりとして月１回実施。１１月よりカラオケを目的としてマスクを着用し小声で歌う事とした。 （２）相談事業 よろず相談（火曜日から土曜日の午前９時から午後５時） 出前よろず相談（階段で館内２階へ来れない方に配慮し月２回、第１、３火曜日午前１０時～１２時の間１階玄関前で受付実施）

(3) その他事業

- ・ほのぼの通信…月1回の発行(500部)
- ・市民館講座…4年度5回開催
 - おもしろ健康講座(10月7日)
 - 防災講座(11月25日)
 - リハビリテーション講座(12月16日)
 - 食と健康講座(1月13日)
 - 糖尿病について健康講座(2月10日)
- ・お口の健康相談会…4年度6回開催(偶数月第一土曜日開催)
- ・ラジオ体操…週1回水曜日(16時より仏現寺公園にて実施)
- ・いきいき百歳体操…8月より(週1回木曜日・15時より集会室A、Bで実施)
- ・ほのぼの映画会…(居場所づくり、生きがい形成、地域間交流目的)

《協力事業》

あいりん子ども連絡会
大阪市生活保護施設連盟
サポーターズハウス連絡協議会
わが町にしなり子育てネット
いまみや小中一貫校学校運営協議会
大阪市地域福祉施設協議会
西成区社会福祉施設連絡会
地区担当者連絡会
拡大まちづくり会議

(4) 他事業との連携

あいりん地域総合相談窓口(あいりんランチ)連携

(5) 他団体との共催

ふれあい喫茶 はぎ【年間通しコロナ中止】

② サービス向上策について

- (1) 午後9時まで開館し、使用申込も午後9時まで受付けている。
- (2) 「よろず相談」という名で各種相談事業を行っている。来館者の生活や医療等、様々な相談内容に対応している。また、必要な場合は各種関係機関とも協力し、相談内容の解決に必要な手立てが少しでも行えるように手助けをしている。階段利用が困難な方に、月2回1階玄関前での相談を実施している。
- (3) 館内での活動にとどまらず、来館することが困難な人のところに出向き、相談事業の実施や介護サービスを受けるまでの間の通院などの同行等、食材購入困難者の買い物援助また、地域主催の行事や会議に積極的に参加し、情報交換や広報活動をするにより、地域との関係づくりに取り組んでいる。
- (4) 相談事業で通院支援の一環として、車イスの貸し出しを行なっている。近隣の引っ越し支援にリヤカーの貸し出しも行っている。
- (5) こどもルームを共有スペースとして一般開放している。図書の貸出は1回・5冊(1回あたり2週間)を上限に貸出も行っている。

- (6) 地域住民との交流を図るため、仏現寺公園内にて、16時より週1回ラジオ体操を定期的に行っている。
- (7) 介護予防対策として、いきいき百歳体操を開催し区の情報提供他、ボッチャ競技を取り入れ高齢者の健康維持増進の取り組みを実施している。
- (8) 月1回広報誌「ほのぼの通信」を発行。地域への配布により、広く事業を周知し、利用率向上をめざしている。また、(社福)大阪社会医療センターに紙面の一部を提供し、地域の医療情報等を掲載している。
- (9) ホームページを活用し、貸館の空き状況やイベント等の告知を行い、広く周知をしている。4年度アクセス数3,415件、更に4年度よりホームページのリニューアルにより、貸館申込状況をリアルタイムで確認出来ると共に、お問い合わせページも増設し市民館に対する問い合わせの回答がスムーズに出来るようボリュームアップし市民サービスに繋げる。
- (10) 事務室前に御意見箱を設置しており、随時ご意見ご指摘を聴取できるようにしている。ご意見、ご指摘があれば館内に掲示し、実行可能なものから順に実施している。
- (11) 自動血圧測定器を設置し近隣の方々の健康管理に役立てている。測定結果が紙出力されるので、個人データの管理がしやすいことにより多くの方が利用されている。
- (12) 市民館受付窓口を開放的な受付カウンターに改修した事により、対面での対応が効果的に行えている。コロナ感染予防対策他、来館者が目視出来、対応がスムーズに出来る様になり館内防犯管理にも役立っている。
- (13) 館内の老朽化、ゆがんだ椅子、汚れ朽ちた机を一掃更新する事で、利用者に大変喜んでいただいている。
- (14) 長年の懸案であった、朽ちた講堂床を改修することが出来た。館内音響設備他一新する事で、利用者より歓喜の声を頂いている。
- (15) 3階和式トイレの一部を洋式に改修。高齢者の利便性を高めることが出来ている。
- (16) AEDを2階に設置し案内掲示とともに緊急対応出来るよう配慮した。わかくさ保育園含め館内、近隣の方々に活用出来るよう配慮している。
- (17) 2階から3階に通じる階段に掲示版を設置し、市民館やその他の広報を利用者目線で確認出来るようにした。
- (18) あいりん総合相談窓口(あいりんランチ)が使用している2階空室を個人情報保護する相談室として整備し、あいりんランチの相談者が落ち着いて相談できるよう対応した。
- (19) 市民館北側付近の迷惑駐輪について、西成区役所及び建設局西部方面管理事務所津守工営所の協力で必要な対策を講じた。
- (20) 施設全般で利用者が利用しやすい施設環境整備が出来、生まれ変わった施設として好評価を得ることができた。

③ 市費縮減に係る取組状況について

- (1) 年間を通じ徹底した節電に努めている。(例：夏季・冬季共に環境省推奨の設定温度を維持している。夏季には、事務室等は冷房をできるだけ使用せず、扇風機を使用。冬季はガスストーブを使用している。)

(2) 不要な電灯をこまめに消している。とくに昼間は、安全性に問題が無い範囲で、不要箇所の消灯に努めている。 (3) トイレの自動洗浄を切り、手動で水を流すようにするなど、できる限り節水に努めている。 (4) 2、3階の共用部の電灯を全てLEDに交換済。
④ 利用促進策について
(1) 利用増を図るために、機会を捉えて、地区社会福祉協議会長、町会長、地域内外の利用者と利用団体から意見を聴取し、出された意見や改善提案に対応するなど、利用団体への利便性を高めるよう努めている。 (2) 地域交流に関して「萩之茶屋文化祭」実行委員会事務局として地域、地域諸団体の意見を反映させ、地域間世代交流の場として開催した。 (3) ボランティア育成 西成市民館や地域活動を理解してもらい、ボランティア活動につながるように、福祉系大学の学生、社会人に募集依頼を行っている。
⑤ 利用者からの苦情・意見の把握について
(1) 苦情意見等が利用者からあれば、業務日誌に記録し、職員全員へ周知するように努めている。 (2) 苦情処理マニュアルの更新（前年度からの新たな事例等を追記、現状とのマッチングの見直し） (3) 事務室前に御意見箱を設置し、苦情や意見を発言しやすい状況にしている。
⑥ 利用者の満足度の把握について
貸館利用団体とその参加者、市民館イベントの参加者、よろず相談の利用者からアンケートをとったうえで分析を行い、その内容に基づき改善に努めている。 また、貸館利用者からの意見や指摘があれば、市民館の運営に活かしている。 アンケート実施時期…令和4年11月9日～令和5年2月28日 アンケート結果…回答者数433人、満足回答408人、利用者満足度94.2%

4 収支決算状況

単位（円）

収 入（項目）	内 訳	金 額
業務代行料	19,238,000	19,238,000
利用料収入	551,000	551,000
その他収入	179,904	179,904
収入合計（A）	19,968,904	19,968,904
支 出（項目）		金 額
人件費		15,843,915
物件費		3,278,665
支出合計（B）		19,122,580
収支（A）－（B）		846,324

5 その他

① 他施設との連携、地域との連携、市民・NPOとの協働等との取組
(1) 西成区社会福祉協議会と共催、ふれあい喫茶「はぎ」【コロナ中止】 (2) 秋季(10月)に開催する萩之茶屋文化祭(運営実行委員会方式)のために、西成市民館が事務局を担い、6月より萩之茶屋文化祭実行委員会を開催した。 (3) 各種相談事業を行う上では、相談内容に応じて適切な支援ができるように、西成区保健福祉センター(分館含む)、大阪社会医療センター、西成労働福祉センター、大阪自彊館、今池こどもの家、大阪いちょうの会、大阪市社会福祉協議会、西成区社会福祉協議会地域包括支援センター、はぎさぼーと、あんしんさぼーと、NPO諸団体、西成警察署等と連携を図っている。 (4) 併設のわかくさ保育園の園児のために、雨天時に西成市民館の講堂・和室等を園児の遊戯室とし提供している。
② 職員研修の実施状況
(1) 月1回職員会議として市民館運営会議、安全衛生会議を行っている。 (2) 月1回併設のわかくさ保育園と防火・避難訓練を行っている。
③ 個人情報保護・情報公開について
(1) 個人情報保護については、マニュアルを法人において整備しており、そのマニュアルに基づき取り組んでいる。 (2) 記録のファイルはロッカーに保管し終業時に施錠したうえで、鍵の保管については施設長の監督のもと適切に管理している。 (3) 情報公開法に則り、情報公開並びに守秘義務遵守の刷物を館内に掲示し周知を図っている。 (4) 情報開示要請の対応。クレームがあった場合は、第3者苦情解決委員(民生委員等で構成)に委ねて解決を図っている。
④ その他
(1) 生活保護受給後、日々の活動、いきがい、居場所を求める人たちが増えており、そういった人たちの居場所づくりも課題とし、活動を広げている。 (2) 地域に住む日雇い労働者、生活保護受給者の人たちからの相談が多く、その対応を重視している。 (3) 近年、アパート等で、生活している独居高齢者が増加しているため、これらの課題、事例を地域内の会議で提示、供用することで、各種相談時に柔軟な対応が可能となった。